

新春に集う祈念の舞心一つに
 第46回東通村郷土芸能保存連合会発表会

1月8日(日)、村体育館において、第46回東通村郷土芸能保存連合会発表会が開催されました。

発表会は、老部敬神会の「平獅子」で幕が開けられ、村内12団体が13演目を演じ、村に脈々と受け継がれてきた伝統の舞が披露され、会場には村内外から多数の観客が訪れました。

「能舞」「獅子舞」「神楽」と各団体が継承されている演目は異なりますが、どれも中世の舞と音色をそのままに伝えており、その幽玄な舞に魅了されていました。

今年、株式会社尻屋観光のご協力により、村内の全集落と会場を結ぶ無料送迎バスが運行されたこともあり、例年より多くの観客で賑わいました。また、村内のみならず県外からも多くの観客が訪れ、伝統の舞をカメラに収めようとカメラやビデオを構えながら、中世より伝える舞と音色を堪能していました。



- 1.平獅子(老部敬神会)
- 2.千歳(岩屋青年会)
- 3.三番(入口青年会)
- 4.つきあげ三番叟
(小田野沢神楽会)
- 5.信夫(古野牛川敬神会)
- 6.おかめん(目名神楽会)
- 7.拾番新門の舞
(尻屋三余会)
- 8.渡辺(鹿橋青年会)
- 9.屋島(浦野沢青年会)
- 10.手踊
(小田野沢神楽会)
- 11.巴御前(大和敬神団)
- 12.鐘巻
(白糠勇清倶楽会)
- 13.権現舞
(砂子又郷友会)

